

REALITY ANIMATION PUPPETS BROTHERS QUAY MUSIC JANKOWSKI SOUND SIDER  
CAMERA DECORS LESZER JAN KOWSKI LARRY SIDER



# ストリート・オブ・クロコダイル

監督、パペット・デザイン＝ブラザーズ・クエイ  
原作＝ブルーノ・シュルツ「大蛇通り」  
音楽＝レフ・ヤンコフスキ  
サウンド編集＝ラリー・サイダー  
美術＝ジョナサン・コリンソン  
製作＝キース・グリフィス (アトリエKonink)  
+BFI+Channel4  
1986年 イギリス映画 20分 カラー+白黒  
●配給＝イメージフォーラム

英国怪奇ロマンの異端、ブラザーズ・クエイの映像錬金術



●ブラザーズ・クエイ同時上映作品  
レオシュ・ヤナーチェク

1983年 27分 カラー

ヤン・シュバンクマイヤーの部屋

1984年 14分 カラー 共同監督＝キース・グリフィス

ギルガメッシュ/小さなほうき

1985年 11分 カラー 共同監督＝キース・グリフィス

PRODUCER GRIFFITHS  
KEITH

BRITISH FILM  
INSTITUTE  
PRODUCTION  
IN ASSOCIATION WITH  
CHANNEL FOUR  
TELEVISION

# STREET OF CROCODILES



# ストリート・オブ ・クロコダイル

監督・パベット・デザイン＝ブラザーズ・クエイ  
 原作＝ブルーノ・シュルツ「大鰐通り」  
 音楽＝レフ・ヤンコフスキ  
 サウンド編集＝ラリー・サイダー  
 美術＝ジョナサン・コリンソン  
 製作＝キース・グリフィス（アトリエKoninck）  
 +BFI+Channel4  
 1986年／イギリス映画／20分／カラー＋白黒  
**●配給＝イメージフォーラム**

## ●解説

今世紀初頭のヨーロッパ幻想美学と現代的イルミネーションの交差する、時代を超えた究極の人工美——“映像の錬金術師”の名をほしいままにするブラザーズ・クエイの作品は、ロンドンそしてNYで短篇としては異例の観客動員を記録、映像シュールレアリストの再来と絶賛をあげた。日本では'88年春のイメージフォーラム・フェスティバルで作品が公開され話題となった。

“大鰐通り”に迷い込んだ男が目撃する幻想的な出来事——『ストリート・オブ・クロコダイル』には、踊るネジ、内臓を持つ時計、アンダルシアの犬、を想わせる斜め縞の箱、モノトーンに不意に色彩が飛び出す仕立屋などが次々に登場し、独自の沸き立つアニミズム（生命を吹き込む）によって新しい視覚領域へと到達した。原作はポーランドのカフカと呼ばれるブルーノ・シュルツ。この作品の影響で、埋もれていた作家シュルツが目目されつつある。

同時上映されるクエイ兄弟の作品は、チェコの人形アニメ作家シュヴァンクマイヤー、作曲家ヤナーチェクなど異端視された才人へのオマージュ。現在、シュヴァンクマイヤーは新作の『アリス』で、ヤナーチェクは映画『存在の耐えられない軽さ』の音楽で再び脚光を浴びている。クエイ兄弟はヨーロッパ美学の継承者であると同時に、再発見の先導役とも言えよう。

作品に登場するキャラクター、セットはクエイ兄弟の手によるもの。畸型や廃墟を思わせるデザインが目を魅くが、不気味さと表裏一体の美しさは見逃せない。キャラクターがクエイ兄弟の手によってコマ単位の生命を吹き込まれ動き出す時、出来合いの美しさとはかけ離れた“異端”の美がスクリーンに現れ、映像の錬金術が現実のものとなった。

今世紀初頭のベルギーやチェコのもっとも洗練されたヒーローやアイドルの間をかなりさまよったあげく、ブラザーズ・クエイは理想的なテリトリーを発見した。原作者シュルツにとってのドロホバチという街、薄暗い通り、不可解な儀式、廃墟の舞台、長い夜の透視図、怪しげな目的にきしみながら動く機械、恐慌、退屈、そしてメランコリアの街だ。

——ビーター・グリナウェイ

## 『レオシュ・ヤナーチェク』

1983年、16ミリ、カラー、27分、(Channel4制作)  
 チェコの作曲家レオシュ・ヤナーチェクの人生と彼の歌劇のストーリーが迷路のように交差する。

●音楽＝レオシュ・ヤナーチェク  
 ●監督・美術・人形制作・アニメ撮影＝ブラザーズ・クエイ  
 ●編集＝ラリー・サイダー  
 ●脚本・プロデュース＝キース・グリフィス

## 『ヤン・シュヴァンクマイヤーの部屋』

1984年、16ミリ、カラー、14分、(Channel4制作)  
 チェコの人形アニメ作家シュヴァンクマイヤーが、弟子に知識と技術を伝授する。弟子はクエイ兄弟の分身か？

●監督・美術・人形制作・アニメ撮影＝ブラザーズ・クエイ  
 ●共同監督・プロデュース＝キース・グリフィス  
 ●音編集＝ラリー・サイダー  
 ●音楽＝ズデニェク・リシュカ

## 『ギルガメッシュ／小さなほうき』

1985年、16ミリ、カラー、11分、(Channel4制作)  
 古代の暴君ギルガメッシュが三輪車を乗り回し、怪物エンキドゥを喜々として追う、不気味なお伽話。

●監督・美術・人形制作・アニメ撮影＝ブラザーズ・クエイ  
 ●共同監督・プロデュース＝キース・グリフィス  
 ●音編集＝ラリー・サイダー  
 ●音楽＝R・ウォーター



シネ・ヴィヴァン・ナイトシアター  
**1月6日(金)よりロードショー!**

特別鑑賞券1,200円 絶賛発売中!!

(当日＝一般1,500円／学生1,300円)

劇場窓口、都内各プレイガイド、チケット・セゾン、チケットぴあ、セゾン系各劇場でお求め下さい。

PM9:30より1回上映

(土曜日を除く。但し「童年往事」上映中に限り土曜日より)

●終映時間 PM10:50 ●自由席／定員制

CINE VIVANT

シネ・ヴィヴァン・六本木

地下鉄日比谷線六本木駅下車・1番出口・WAVE地下1階

☎03(403)6061